

表1 診療ガイドライン作成年と領域別の評価結果

	2000年以前	2001-2002年	2003年以降	平均	備考
対象と目的	87.0%	79.4%	76.2%	78.4%	
利害関係者の参加	39.8%	47.4%	49.5%	47.7%	2000年以前 vs2003年以降でp<0.1
作成の厳密さ	31.2%	35.0%	48.2%	42.3%	2000年以前 vs2003年以降でp<0.05、 2001-2002年 vs2003年以降でp<0.1
明確さと提示の方法	59.7%	64.2%	65.6%	64.5%	
適用可能性	28.4%	27.1%	27.5%	27.5%	
編集の独立性	27.8%	28.5%	24.4%	26.0%	
合計	44.3%	46.4%	50.3%	48.5%	

表2 厚生労働科学研究費の有無と評価結果

作成年	領域	なし	あり
-2000	対象と目的	93.5%	74.1%
	利害関係者の参加	41.0%	37.5%
	作成の厳密さ	37.3%	19.0%
	明確さと提示の方法	63.2%	52.8%
	適用可能性	17.6%	50.0%
	編集の独立性	31.9%	19.4%
	合計	46.7%	39.4%
2001-2002	対象と目的	78.6%	80.4%
	利害関係者の参加	45.1%	50.4%
	作成の厳密さ	33.7%	36.7%
	明確さと提示の方法	64.8%	63.5%
	適用可能性	23.9%	31.2%
	編集の独立性	25.9%	31.7%
	合計	45.0%	48.3%
2003-	対象と目的	78.6%	72.9%
	利害関係者の参加	48.8%	50.4%
	作成の厳密さ	46.4%	50.7%
	明確さと提示の方法	66.4%	64.5%
	適用可能性	27.0%	28.2%
	編集の独立性	26.5%	21.4%
	合計	50.2%	50.5%

表3 改定前後の評価結果の比較

	改定前	改定後	備考
対象と目的	81.9%	82.4%	
利害関係者の参加	44.1%	56.6%	p<0.05
作成の厳密さ	31.9%	36.1%	
明確さと提示の方法	63.2%	67.7%	
適用可能性	20.8%	24.5%	
編集の独立性	23.6%	30.6%	
合計	43.8%	49.2%	

資料1 AGREE instrument の評価項目

(対象と目的)当該のガイドライン全体の目的、取り扱う臨床上的問題、その対象とする患者に関する事項

1. 目的の具体的な記載
2. 取り扱う問題の具体的な記載
3. 対象患者の具体的な記載

(利害関係者の参加)ガイドラインの利用者として想定した人々の意向をどの程度反映するものであるかに焦点を当てている

4. 専門家代表者の作成への参加
5. 患者の価値観や好みへの考慮
6. 利用者の明確な定義
7. 想定利用者による試行

(作成の厳格さ)エビデンスを集積し統合するのに用いられた手順・推奨を導き出す方法・改訂に関する事項

8. エビデンスの系統的な検索
9. エビデンスの選択基準の記載
10. 推奨決定方法の記載
11. 健康上の利益・副作用・リスクの考慮
12. 推奨とエビデンスの明確な対応関係
13. 公表前の外部審査
14. 改訂手続きの予定

(明確さと提示の方法)ガイドラインの言葉遣いや形式に関する事項

15. 推奨の具体性
16. 患者の状態に応じた選択肢の明示
17. 重要な推奨の明確さ
18. 利用ツールの用意

(適用可能性)ガイドラインを利用する際の、制度面・組織面・行動面・費用面への影響に関する事項

19. 推奨の適用による制度・組織上の障害の考慮
20. 推奨適用に伴う費用の考慮
21. モニタリング・監査の基準の提示

(編集の独立性)推奨の独立性、もしくはガイドライン作成グループの利害の衝突について記載しているかどうかに関する事項

22. ガイドライン編集の独立性
23. 作成グループとの利害関係の記載

(全体評価)

(注意)各項目について、4点:「強くあてはまる」～1点:「全くあてはまらない」、または「情報が無い」の4段階で評価する。全体評価は、「強く勧告する」、「勧告する(条件付きもしくは修正あり)」、「勧告しない」、「自信がない」の4段階で評価する。

資料2 分析対象とした診療ガイドライン

番号	名称	製作年	製作者	版	対象疾患	FUND	診断	治療
1	エビデンスに基づいた急性膵炎の診療ガイドライン 第1版	2003	急性膵炎の診療ガイドライン作成委員会(日本腹部救急医学会、日本膵臓学会、厚生労働省特定疾患対策研究事業 難治性膵疾患に関する調査研究班)	第1版	急性膵炎	日本腹部救急医学会	あり	あり
2	重症頭部外傷治療・管理のガイドライン 第1版	2001	日本神経外傷学会	第1版	重症頭部外傷		なし	あり
3	摂食障害・治療のガイドライン 第1版	2002	切池信夫編(摂食障害の標準的治療法の開発とそのガイドライン作成と治療体制のあり方について)研究班)	第1版	摂食障害	厚生労働科学研究研究費補助金	あり	あり
4	肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)予防ガイドライン	2004	肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)予防ガイドライン作成委員会(日本血栓止血学会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科・新生児血液学会、日本集中治療学会、日本静脈学会、日本心臓学会、日本整形外科学会、日本泌尿器科学会、日本麻酔科学会、肺塞栓症研究会)	(第1版)	肺血栓塞栓症、深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)	日本心臓財団の助成	なし	あり
5	動脈硬化性疾患診療ガイドライン 2002年版	2002	日本動脈硬化学会	(第2版) 旧版:高脂血症診療ガイドライン 1997年	動脈硬化性疾患、高脂血症		あり	あり
6	高脂血症治療ガイド 2004年版	2004	日本動脈硬化学会	(第1版)	高脂血症		あり	あり
7	科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン	2004	日本糖尿病学会	(第1版)	糖尿病	厚生省医療技術評価総合研究事業	あり	あり

8	鼻アレルギー診療ガイドライン：通年性鼻炎と花粉症 2002年版 改訂第4版	2002	鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会	改訂第4版	アレルギー性鼻炎(鼻過敏症、鼻アレルギー性鼻炎、花粉症)	記載なし(日本アレルギー学会、厚生労働省「アレルギー性鼻炎の科学的根拠に基づく医療によるガイドライン策定に関する研究班?」)	あり	あり
9	鼻アレルギー診療ガイドライン：通年性鼻炎と花粉症 改訂第3版	1999	鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会	改訂第3版	同上	記載なし(日本アレルギー学会?)	あり	あり
10	EBMに基づく急性心筋梗塞診療ガイドライン	2001	厚生科学研究費補助金「急性心筋梗塞及びその他の虚血性心疾患の診療情報の整理に関する研究」班	(第1版)	急性心筋梗塞	厚生科学研究費補助金	あり	あり
11	高血圧治療ガイドライン 2004	2004	日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会	(第2版)	高血圧		あり	あり
12	高血圧治療ガイドライン 2000年版	2000	日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会	第1版	高血圧		あり	あり
13	多発性骨髄腫の診療指針 第1版	2004	日本骨髄腫研究会	第1版	多発性骨髄腫		あり	あり
14	COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 第2版	2004	日本呼吸器学会 COPDガイドライン第2版作成委員会	第2版	COPD(慢性閉塞性肺疾患)		あり	あり
15	COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン	1999	日本呼吸器学会 COPDガイドライン作成委員会	(第1版)	COPD(慢性閉塞性肺疾患)		あり	あり
16	呼吸不全：診断と治療のためのガイドライン	1996	厚生省特定疾患「呼吸不全」調査研究班	(第1版)	呼吸不全	厚生省	あり	あり

17	成人院内肺炎診療の基本的考え方：呼吸器感染症に関するガイドライン	2002	日本呼吸器学会呼吸器感染症に関するガイドライン作成委員会	(第1版)	院内肺炎		あり	あり
18	成人気道感染症診療の基本的考え方：呼吸器感染症に関するガイドライン	2003	日本呼吸器学会呼吸器感染症に関するガイドライン作成委員会	(第1版)	気道感染症：急性上気道炎、急性下気道感染症、慢性下気道感染症		あり	あり
19	成人市中肺炎診療の基本的考え方：呼吸器感染症に関するガイドライン	2000	日本呼吸器学会市中肺炎診療ガイドライン作成委員会	(第1版)	市中肺炎		あり	あり
20	特発性間質性肺炎診断と治療の手引き	2004	日本呼吸器学会びまん性肺疾患診断・治療ガイドライン作成委員会	(第1版)	特発性間質性肺炎	日本呼吸器学会と厚生労働科学研究特定疾患対策研究事業研究班が共同で作成	あり	あり
21	EBM に基づいた喘息治療ガイドライン 2004	2004	厚生労働科学研究事業 診療ガイドラインのデータベース化に関する研究班	(第2版)	喘息	厚生労働科学研究特別研究事業	なし	あり
22	EBM に基づいた喘息治療ガイドライン	2001	厚生労働省医療技術評価総合研究喘息ガイドライン班	(第1版)	喘息	厚生労働省医療技術評価総合研究	なし	あり
23	一般臨床医のための EBM に基づいた喘息治療ガイドライン 2004: (No.22 の一般医むけ小冊子)	2004	宮本昭正監修(一般臨床医のための EBM に基づいた喘息治療ガイドライン編集委員)	(第1版)	喘息	厚生労働科学研究特別研究事業	なし	あり
24	小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2002 2004 年改訂版	2004	日本小児アレルギー学会	(第2版)	小児気管支喘息		なし	あり

25	小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2002	2002	日本小児アレルギー学会	(第1版)	小児気管支喘息		なし	あり
26	EBM に基づく胃潰瘍診療ガイドライン	2003	科学的根拠(evidence)に基づく胃潰瘍診療ガイドラインの策定に関する研究班(日本消化器学会推薦)	(第1版)	胃潰瘍	厚生科学研究費	あり	あり
27	喘息予防・管理ガイドライン 2003 JGL1998 改訂第2版	2003	厚生省免疫・アレルギー研究班	(第3版) 2版:2000の所蔵なし	喘息	厚生省長期慢性疾患総合研究事業	あり	あり
28	喘息予防・管理ガイドライン 1998	1998	厚生省免疫・アレルギー研究班	(第1版)	喘息	同上	あり	あり
29	関節リウマチの診療マニュアル(改訂版):診断のマニュアルとEBMに基づく治療ガイドライン	2004	厚生労働省研究班	改訂版(第2版)	関節リウマチ	厚労省	「診断のマニュアル」掲載	あり
30	脳卒中治療ガイドライン 2004(脳卒中一般/脳梗塞/脳出血/クモ膜下出血/リハビリテーション)	2004	脳卒中合同ガイドライン委員会:日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会(日本脳卒中の外科学会、日本神経学会、日本神経治療学会、日本リハビリテーション学会)	(第1版)	脳卒中一般/脳梗塞/脳出血/クモ膜下出血/リハビリテーション	メーカーなどから援助は受けず、委員会を中心に費用を捻出	あり	あり
31	EBM に基づくクモ膜下出血診療ガイドライン	2004	日本脳卒中の外科学会 クモ膜下出血診療ガイドライン改訂委員会	(第1版)	クモ膜下出血	厚生科学研究費補助金	あり	あり
32	パーキンソン病治療ガイドライン マスターエディション	2003	日本神経学会「パーキンソン病治療ガイドライン」作成小委員会	(第1版)	パーキンソン病		なし	あり
33	神経免疫疾患治療ガイドライン	2004	日本神経治療学会・日本神経免疫学会合同 神経免疫疾患治療ガイドライン委員会	(第1版)	重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、多発性硬		あり	あり

					化症			
34	特発性正常圧水頭症診療ガイドライン	2004	日本正常圧水頭症研究会 特発性正常圧水頭症診療ガイドライン作成委員会	(第1版)	特発性正常圧水頭症			あり あり
35	睡眠障害の対応と治療のガイドライン	2002	睡眠障害の診断・治療ガイドライン研究会編	(第1版)	睡眠障害	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費		あり あり
36	アルコール・薬物関連障害の診断・治療ガイドライン	2003	アルコール・薬物依存症の病態と治療に関する研究会	(第1版)	アルコール・薬物関連障害	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費		あり あり
37	気分障害治療ガイドライン	2004	上島国利編 精神医学講座担当者会議監修	(第1版)	気分障害：うつ病性障害、双極性障害			なし あり
38	心的トラウマの理解とケア	2002	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 外傷ストレス関連障害の病態と治療ガイドラインに関する研究班	(第1版)	外傷ストレス関連障害：PTSD	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費		なし あり
39	深在性真菌症の診断・治療ガイドライン 第1版	2003	深在性真菌症のガイドライン作成委員会編 企画・真菌症フォーラム	第1版	深在性真菌症			あり あり
40	注意欠陥/多動性障害-AD/HD-の診断・治療ガイドライン	2003	AD/HD の診断・治療研究会	(第1版)	注意欠陥/多動性障害	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費		あり あり
41	Evidence-Based Medicine に則ったがん疼痛治療ガイドライン	2000	日本緩和医療学会 がん疼痛治療ガイドライン作成委員会	(第1版)	癌疼痛治療			なし あり

42	EBM の手法による肺癌診療ガイドライン 2003年版	2003	Evidence-based Medicine (EBM) の手法による肺癌の診療ガイドライン策定に関する研究班 (後援: 日本肺癌学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器外科学会、日本外科学会、日本胸部外科学会、日本癌治療学会、日本医学放射線学会、日本呼吸器内視鏡学会)	(第1版)	肺癌	厚生労働省医療技術評価総合研究事業	あり	あり
43	胃癌治療ガイドライン 医師用 2004年4月改訂 第2版	2004	日本胃癌学会	第2版	胃癌	日本胃癌学会費用のみにて作成された	なし	あり
44	胃癌治療ガイドライン 医師用 2001年3月版	2001	日本胃癌学会	(第1版)	胃癌		なし	あり
45	胃がん治療ガイドラインの解説 一般用 2004年12月改訂 第2版	2004	日本胃癌学会	第2版	胃癌		なし	あり
46	胃がん治療ガイドラインの解説 一般用 2001年12月版	2001	日本胃癌学会	(第1版)	胃癌		なし	あり
47	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 1. 薬物療法 2004年版	2004	日本乳癌学会	(第1版)	乳癌	厚生労働科学研究費補助金	なし	あり
48	卵巣がん治療ガイドライン 2004年版	2004	日本婦人科腫瘍学会 (後援: 日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会)	(第1版)	卵巣癌		なし	あり
49	食道癌治療ガイドライン 2002年12月版	2002	日本食道疾患研究会	(第1版)	食道癌		なし	あり
50	EBMに基づく前立腺肥大症診療ガイドライン	2001	泌尿器科領域の治療標準化に関する研究班 (日本泌尿器学会推薦)	(第1版)	前立腺肥大症	厚生科学研究費	あり	あり

51	EBMに基づく尿失禁診療ガイドライン	2004	泌尿器科領域の治療標準化に関する研究班（日本泌尿器学会推薦）	(第1版)	尿失禁	厚生科学研究費	あり	あり
52	尿路結石症診療ガイドライン	2002	日本泌尿器科学会、日本 Endourology・ESWL学会、日本尿路結石症学会	(第1版)	尿路結石症		あり	あり
53	小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2004	2004	日本小児感染症学会、日本小児呼吸器疾患学会	(第1版)	小児呼吸器感染症：上気道炎、気管支炎、肺炎、胸膜炎・膿胸		あり	あり